

指導普及課だより

発行日 平成21年6月15日

郵便番号 010-8550

電話番号 050-3160-6456

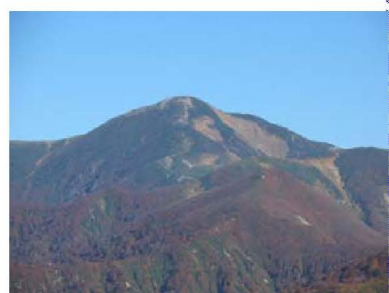
住所 秋田市中通5丁目9-16

隔世の感

指導普及課長 高倉利弘



高校一年生の夏休み山岳部の合宿で朝日連峰を縦走したことがある。来る日も来る日も雨に降られ、20kgのキスリングを背負っての山行はとても厳しかったと記憶している。カビたパンのカビを避けて食べ、木々の葉を流れる水滴で喉を潤し、雨具を着ているのだが汗と雨で下着まで濡れ、先輩から「着たままで乾がへ」と指導され、シュラフの中で寒さと闘ったことを覚えている。それでも、最終日は快晴に恵まれやっと気持ち良く下山することが出来た。で、そこに営林署の看板があった。記憶は定かでないが、旧寒河江営林署管内の製品事業所だったような？はっきりしない。事業所の敷地は整然としていて、一晚、テントを張らせていただいた。今思えば昔々のことではあるが、何とも貴重な経験をしたものである。



あれから40年。朝日連峰は、6年前に森林生態系保護地域に設定され、翌年度に保全管理等について協議する朝日山地森林生態系保護地域管理委員会が全国で初めて設置された。その設置に奔走し、今は運営等にも口を出している。年月とは過ぎてしまえば実に早く感じるもので、巡り合わせとは何とも不思議なものである。(祝瓶山から大朝日岳を望む)

さて、新年度がスタートし、二ヶ月が経過した。山々は若葉・青葉に包まれ、とても清々しい季節であるが、梅雨も近い。ブナの開花状況を気にしながら、今年も引き続き「国民参加の森林づくり」を展開している。管内初めての「古事の森」や「企業の森」の協定締結に向け活動する他、「森林環境教育の推進」の一環として小学五年生用に社会科副読本を作成し、局管内全小学校に配付した「東北の森林と遊ぼう」(生徒用・先生用解説編)が好評を得ており、更なる普及に努めている。



また、白神山地周辺での「自然再生マップ」の普及を図る「ミニシンボジウム」や「仁別森林博物館」の企画展等を開催する他、「保護林」や「緑の回廊」のモニタリング調査も実施している。加えて、報道機関の関心が高いブナの開花時に秋の結実を予想する「ブナの豊凶調査結果」や民有林・国有林一体となった「森林・林業技術交流発表会」等多岐にわたる施策を推進する。もちろん施策の展開には多くの皆さんの指導や協力を得ている。とても感謝している。

当課は変わった。イベント屋から自然再生や緑の回廊など生物多様性保全に至る広範な業務を担当している。こうした変貌振りに驚かれる方がいるかもしれない。

もり 「森林の市」5000人の市民で賑わう

木工・クラフト製作人気

平成21年度東北森林管理局「森林の市」が5月9日（土）、アゴラ広場で開催されました。

「森林の市」は当森林管理局の恒例行事となっており、市民約5000人が来場、会場は大盛況となりました。

当日は天候にも恵まれ、開会式で山崎局長は、「森林の大切さを実感していただき、今日一日木と触れあってください。」と挨拶があり、無料配付用に準備した250本の「コブシ」の苗木は、あっという間になくなりました。

会場では森林管理（支）署や森林組合、木材関係団体などが出店。人気の高い山菜は、山に雪が残りワラビやミズはなかったもののシドケやアイコ、山野草、木炭、テーブルやまな板、表札、木工品など各ブースで趣向を凝らした販売が行われました。

市価よりかなり安く買えるとあって各テントには、お目当ての品を求める市民が殺到し、大変な賑わいとなりました。

今回初めて参加した仁別森林博物館ボランティア案内人会のブースでは、木の枝や実を材料とした子供向けクラフト製作に大勢の親子が取り組み、完成するたびに満足した表情が見られました。

木工製作コーナーでは子供より大人が夢中になり準備した40個のコーナ花台の作成キットが1時間足らずで無くなり、午後から追加して要望に応えました。

また、本部ブースに設けられたクイズコーナーも多くの人が挑戦し、満点の子供や一問も答えられない大人など、記念品の天然杉ストラップや竹とんぼを受け取り笑顔一杯でした。

今回の「森林の市」も、開かれた国有林をPRする大きなステージとなりました。市民の皆さんからは喜んで緑の募金に協力いただき、活気あふれる1日となりました。



〈局長からコブシの苗木を受け取る男の子〉



〈木工製作の花台に取り組むおじいちゃんとお孫さん〉



〈真剣な表情でクラフト作りをする少女〉

ふれあい推進事業（緑の山歩塾）

森林ふれあい推進事業（緑の山歩塾）がスタートして今年度で3年目に入りました。



〈仁別森林博物館〉

今年も多くの方の市民の皆様に参加していただき、森林の中で自然と親しみ、遊び、学ぶ喜びを味わっていただくとともに、国有林が行っている各種施策を紹介、見学していただき、国有林の魅力をも十分に満喫し、森林・林業に関する普及指導、国有林野事業の紹介、PR等を行うこととしています。



〈仁鮎水沢植物群落保護林内きみまち杉〉

今年度は、4回のイベントを計画しました。市民の皆様のご多数の参加をお待ちしております。

〔イベント計画〕

回数	イベント名	実施月日	開催場所
1	太平山山頂付近から眺める仁別森林博物館	6月13日（土）	秋田県秋田市
2	田代岳と高層湿原の高山植物を訪ねて	7月11日（土）	秋田県大館市
3	天然秋田スギを巡る	8月22日（土）	秋田県上小阿仁村・能代市
4	紅葉の栗駒山・妹岳縦走	10月1日（木）	岩手県一関市・秋田県東成瀬村

指導普及課人事異動

転入・転出・異動された皆さんからひと言

草留一久（企画官 技術開発担当）

技術開発担当の草留です。

局署等及び関係各機関の皆様のご指導・ご協力を賜りながら仕事を進めてまいりたいと思います。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

仙北谷 誠（課長補佐）

このたびの異動により、お世話になります。仙北谷です。

国有林マン20数年間の中で、経験のない業務になりますが、皆様のご協力を得つつ、やさしいおじさんを心がけ、子供たちにモデルのような森林環境教育ができればいいなと考えております。

よろしくお願い致します。

高橋弘美（技術開発主任官）

4月1日付けで企画調整室業務係長から異動となりました。

技術開発と合わせてふれあい推進事業（緑の山歩塾）を担当します。

新職務には期待と不安が大ですが、とにかく頑張ります。

どうぞよろしくお願い致します。





倉本敬史 (緑の普及係)

4月1日付けで指導普及課緑の普及係に配属になった倉本です。山形署から来て間もなく、これから勉強することが多くなると思うと少し不安ですが、楽しみでもあります。これから緑の山歩塾など多くのイベントに携わり頑張りますのでよろしくお願いします。



吉田 等 (企画官 自然再生担当)

このたびの人事異動で、技術開発担当から同じ指導普及課の自然再生を担当することになりました。自然再生の業務は、これまで携わってきた業務とは違う分野ですが、気持ちを新たに頑張りますので引き続きよろしくお願いいたします。



後藤孝之 (元 課長補佐)

このたび4月1日付けで青森署へ転任することになりました。皆様には公私にわたり大変お世話になりました。先日、ある人から、「青森林友」の記事を読ませていただき、「植生について詳しく覚え国有林のプラスにしたい」と34年前の新採時に自分が言った記事を発見し、成長していない自分自身が恥ずかしくなりました。指導普及課での経験を生かし、初心にかえり日々研鑽したいと考えておりますので今後ともよろしくお願いします。

定年退職された方々から一言



藤島正忠 (企画官 自然再生担当)

最近、能力不足を補う体力も衰え、相まって退職を迎えました。長年販売課の仕事に携わり、最後はその罪滅ぼしかのように自然再生の仕事でメくる事ができました。一度壊された自然は人間の手では元に戻らないことも学びました。自分の生き方にも重ね合わせたりしています。皆々様には大変お世話になりました。



福山久夫 (技術開発主任官)

4年間担当しました技術交流発表会、苗畑品評会等を通じて局管内の各研究機関、民有林関係者等と知り合い業務が出来たこと。また、指導普及課の各種行事で多くの人達とふれあうことが出来たことが良い思い出となりました。退職に当たりまして、お世話になりました皆様にお礼を申し上げます。



石川キヨ子 (緑の普及係)

平成16年4月からの5年間緑の普及係に籍を置き楽しく仕事が出来たことに課の皆様には感謝申し上げます。また、森林倶楽部や緑の山歩塾に携わり一般の方達とのふれいあを通じ大変勉強になりました。定年退職しますが、引き続き臨時でお世話になりますので、よろしくお願い申し上げます。